

念仏の声

編集・発行：「御同朋の社会をめざす運動」岐阜教区委員会広報部

〒500-8882 岐阜市西野町3丁目1 電話(058)262-0231 FAX(058)263-7353

https://www.hongwanji-gifubetsuin.jp/ E-mail:info@hongwanji-gifubetsuin.jp

2022(令和4)年10月1日発行 vol.247



2022(令和4)年8月1日(月)開催『僧侶研修会』の様子

坊守・寺族女性9人で組織する 「I be会」の活動 ④⑤

「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」の意義 ③

- ・如燈風中 ②
- ・法話「ちゃんと聞いてくれていますか？」 ⑦
- ・仏事に関する Q&A ⑥
- ・僧侶研修会
- ・法名入り名札
- ・教務所(別院)からのお知らせ ⑧

如燈風中



岐阜教区教務所長
御同朋の社会をめぐる運動
岐阜教区委員会委員長

藤岡大英

このたび、令和四年四月一日付にて、本願寺岐阜別院輪番、岐阜教区教務所長を拝命いたしました藤岡大英と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

着任いたしましたから多くの方々とお会いする機会に恵まれ、温かいお言葉をいただいておりますこと誠にありがたき感謝申し上げます。

そのなかで、岐阜教区のみなさまが本願寺岐阜別院をとても大切にしておられることをひしひしと感じております。同時に教区の活動にもご理解とご尽力を賜っており、誠にありがたく思うと同時に、小職に課せられた職責の重大なことに身の引き締まる思いをいたしております。

前任の泉井敬文教務所長には多岐にわたるご活躍をいただきました。小職は浅学の身で前所長には遠く及ばず、歴代所長の足跡に学び職務に専心してまいりますので、みなさま方のご指導ご鞭撻をひとえにお願い申し上げます。

宗門総合振興計画は本年度から第三期に入り、京都の本願寺では来年三月から「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が勤められます。立教開宗慶讃法要は親鸞聖人が『教行信証』を著され、他力の念仏を体系的にお示しになって八〇〇年となることを慶ぶ法要です。私たちが日ごろから親しんでいる「正信偈」も『教行信証』のなかに記されています。親鸞聖人は、晩年まで『教行信証』の推敲を重ねられ、加筆訂正されたと言われています。それは、私に浄土真宗のみ教えを届けるためであったと聞かせていただく時、言いようのない感動を覚えます。

親鸞聖人から二十五代目となる現在の専如ご門主様が、『浄土真宗のみ教え』についてのご親教を出されました。みなさんで唱和できるようにしておりますので、機会あるたびに「われにまかせよ そのまま救う」の弥陀のよび声」とお示しくださっています。阿弥陀如来は、今のこの私を「そのまま救う」とよんでくださる仏さまです。

阿弥陀如来によばれているお互いであることを聞かせていただき、ともに喜びも悲しみも分かち合う人生を歩ませていただきますように。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年

慶讃法要の意義



親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要 立教開宗800年

法要期日 2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月) 6日間

第2期 4月10日(月)～4月15日(土) 6日間

第3期 4月24日(月)～4月29日(土) 6日間

第4期 5月6日(土)～5月11日(木) 6日間

第5期 5月16日(火)～5月21日(日) 6日間



親鸞聖人は、一一七三(承安三年)に御誕生になり、二〇二三(令和五)年は、ちょうど八五〇年になります。

また、親鸞聖人は『顕浄土真実教行証文類(教行信証)』という書物を著され、我々に浄土真宗という教えを示されました。この『教行信証』の成立を一二二四(元仁元)年とみて、この年を立教開宗の年としています。二〇二四(令和六)年が、それからちょうど八〇〇年になります。

これが、今回の法要の「意味」になります。しかし、「意義」ということになれば、一人ひとりがそれぞれに問うていくことなのだと思えます。

生きていくということは、思い通りにはならないものです。なりたい自分には、なかなかありませんが、どんな私になろうとも「南無阿弥陀仏」だけは、私を見守っていてくれます。その心強さに思うとき、八〇〇年の時を越えて親鸞さまが、そっと私の背を撫でてくださるような気がするのです。「親鸞さま、あなたがいてくれて本当によかった」という気持ちを保ちを伝えるに行きませんか？



1973年法要の様子 西本願寺提供

坊守・寺族女性9人で組織する「I-bee会」の活動

現在、宗門では、『結ぶ絆から、広がるご縁へ』のスローガンのもと、「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）を推進しています。この運動はお念仏にご縁をいただいた私たち一人ひとりが念仏者としての自覚を深め、浄土真宗のみ教えを社会に広めつつ、具体的な社会貢献をめざしていく運動です。2018年より

〈貧困の克服に向けて〉 〜Dana for World Peace〜 ―子どもたちを育むために―

を重点プロジェクト実践目標として定め、宗門に関わる人々が一体感をもって取り組めるよう進めています。
今回、岐阜教区で具体的な取り組みを行っている「I-bee会」代表の岩間尚子さんにお話を伺いました。

『「I-bee会」とは、
どんな会ですか?』

岐阜教区の坊守や寺族女性有志ら9人が中心となって活動している会です。「まずは、行動しよう」「Iヶ寺では難しいけれど何ヶ寺かでできれば」との思いから始めました。2021年5月から教区内全寺院に食料や衣料や日用品などの提供を呼びかけ、2、3ヶ月に1回、岐阜県内4ヶ所の居場所づくり事業や、母子支援の団体へ届ける活動を行っています。物品の振り分け日に、団体の方々に直接別院に来ていただき、必要な物を選んで持ち帰っていただきます。



『「I-bee」の名前の由来は
何ですか?』

植物のアイビーは、ぐんぐん蔓が伸びて周りに広がります。この活動がぐんぐん周りに広がることを願っています。また、英語のbe動詞の役割は、主語と主語についての情報を結びつけることです。私たちの活動が、人々を結びつけることにより、一人ひとりが自分の人生を大事に生きる手助けになればと思っています。



『物品をどのように
集めていますか?』

現在、寺院を中心にチラシを配布したり、個人的に声をかけたり、教区や組の研修等でお話をさせていただき活動しています。皆様からの提供物が増え、それに伴って支援先を増やせればと考えています。
今は、別院への持ち込みは、「I-bee会」の振り分け日の前10日間。日持ちのしないものは、前日と当日の午前中のみになっています。ご協力いただける物品がありましたら、別院までお問い合わせください。



『実際に活動されて感じたこととは何ですか?』

支援先の団体の皆様に喜んでいただけたことがやりがいになっています。貧困ということを知ってはいましたが、こんなに身近に貧困があることがこの活動をして初めてわかりました。そこに自分たちが何ができるかを考えさせてもらえる機会をいただけたことが良かったです。

物品支援以外にも、自分ができることは何かと意識が向くようになり、親しい人たちと支援について話ができるようになりました。



『今後の活動の展望をどう考えてみますか?』

今は別院を会場に、近隣の寺院の方々に協力をいただいています。いづれは教区内の各地区でも活動の輪が広がればいいと思います。

お寺が困りごとを抱えた人達の受け皿や駆け込み寺になり、また、活動している寺院に「手伝いはいかが」と気軽に助け合えるネットワークが貧困問題だけでなく、防災面でも大きな意味をもつと思います。



ちょっとよってみの活動写真

実際支援を受けてみえるところの活動の様子



今回、支援団体「ちょっとよってみ」様に取材させていただきました。

「I be会」より提供を受けている支援団体「ちょっとよってみ」では、食料・衣料・文房具類や日用品を利用し「子ども食堂」「0円マーケット」「駄菓子屋さん」などの活動をされています。代表者の麓英里(ふもと えり)さんが、地域の人がいつでも誰でも寄れる場所を作りたいと願い立ち上げられました。子どもたちだけでなく高齢者も参加でき、双方の交流の場となっています。また、参加者が日頃、口にはできない自分の気持ちを聞いてもらう場所にもなっているようです。麓さんの「困った時に駆け込められる場所があったら安心できるでしょ、そういうところの予防線の場所でもあるのよね」という言葉が印象的でした。

毎月第2水曜日に開催されている「駄菓子屋さん」では、子どもたちが売り手と買い手に分かれ、お店やさんごっこを展開しています。子どもたち自身が販売陳列のレイアウトを考えたり、年齢が上の子が下の子に教える姿が見られたり、「これはお祖母ちゃんの分、これはお祖父ちゃんの分」などと家族の事も考えて買う姿が見られるそうです。子どもの居場所・安心できる場所と同時に「I be会」より提供された物を通して心の成長が育まれる場にもなっているようです。

今後もこのような団体の活動の場が長く持続していけるように、「I be会」への支援が広がっていただければと感じました。



仏事に関する



Q 浄土真宗では法事は何のためにお勤めするのですか？

一般的に、法事といえば追善供養の意味合いがあります。
※追善供養とは、私たちがお勤めすることによって、亡くなられた方を供養することです。
しかし、浄土真宗では、阿弥陀さまのおはたらきによってお浄土に生まれさせていただき、仏のいのちを賜ります。ですので、追善供養の意味合いはありません。
それでは、なぜ浄土真宗では法事を勤めるのでしょうか。



A 浄土真宗の法事とは、亡くなられた方を偲びつつ、私たちが仏さまのご縁に出遇わせていただく仏事です。



法事を勤めるのは、亡くなられた方の追善供養のためだと思っている人が意外に多いのですが、浄土真宗ではそのようなことは言いません。阿弥陀さまのご本願により亡くなられた方はお浄土へ往生しているのであり、今生きている私たちも同様に阿弥陀さまに救われる身であるのです。

法事は、亡き方を偲びつつ、私が仏法を聞くためのご縁であり、日頃、仕事や家事、趣味などに追われて仏縁に触れる機会の少ない私たちに、仏さまとなったご先祖さまがこの世に還^{かえ}って教化^{きょうけ}下さる場であるとあじわっていかねばなりません。

法事を通じて、阿弥陀さまへの報恩感謝をあらわし、生きることの意味やいのちの尊さ、自然の恩恵も含めて、多くの命の上に私の命が存続できていることへの感謝を行なう機会なのです。即ち、法事は誰のためでもなく、先祖が与えてくれた自分のための行事と理解しなくてはなりません。

子どもに負担を掛けるという前に、大事な子どものためにも仏事を相続してもらい、子どもや孫にも仏縁をもってもらおうよう縁を結ぶことが親の役目でもあるのです。

世間に、「お経をあげる」という言葉があるので、お経はご先祖さまにあげるものだと理解している方も多いと思いますが、お経はあげるものではなく、私がいただいでいかねばなりません。そのことを仏さまとなり、悟りを開かれたご先祖さまは願っているのです。

その願いに応じて、仏事を有難く勤めさせていただきます。



ちやんと聞いてくれていきますか？

浄土真宗のお話の中で「阿弥陀さまの願いを聞くということは、お念仏申すこと」とお聞きすることがございます。このお話が、私の中でとあるクイズの答えと似ていると感じておりましたのでご紹介させていただきたいと思えます。

『私は友人からDVDを借りました。私は台詞を暗記できるほど見たのですが、後日DVDを返却すると、友人から「ちゃんと見たの？」と言われてしまいました。一体何故でしょうか?』というクイズです。

実際は、回答者が出題者に質問をしながら答えを導くクイズゲームですので、クイズを聞いただけでは不可解に感じるかもしれません。今回はクイズが目的ではありませんので、先に答えをお伝えさせていただきます。

『私はDVDを台詞が暗記できるほど見ました。ただその映像で流れる指示

通りに運動をしていなかったのです。DVDはエクササイズ映像でした。返却時、私は友人に暗記した台詞を披露しました。しかし友人はすかさず「全く覚えてないね。ちゃんと見たの?」と返してきたのです。』

注目していただきたいのは、見るだけで、見たことにならないことと、これは浄土真宗の教えにもつながるところがございます。

浄土真宗の大事な教えに「念仏して浄土に生まれてくれ」という阿弥陀さまの願いがございます。つまりお浄土に生まれさせるという阿弥陀さまの願いを

私が聞くことは「私が阿弥陀さまの願いのとおりにお念仏申す」こととなります。阿弥陀さまの願いは、聞くだけで、聞いたことにならないのです。

私は阿弥陀さまの願いのお話を、聞くだけで聞いた気になってしまうことがございます。そんなとき阿弥陀さまが「私の願いをちゃんと聞いてくれていきますか?」とおっしゃっておられるように感じるのです。そんな阿弥陀さまには、とさせられて申し訳なくも有難く、「お浄土に生まれさせていただきます」とお念仏申す私でございます。

南無阿弥陀仏



本願寺派布教使
飛騨組・浄徳寺

岩佐 真英
いわさ しんえい

「僧侶研修会」

二〇二二(令和四)年八月一日(月)～二日(火)に僧侶研修会を開催いたしました。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、各日半日で、オンラインとの併用で開催いたしました。

八月一日(月)は、講師に遠藤和雅師(岐阜教区勤式指導員)を迎え、テーマ「新制 御本典作法 唱誦法」と題してご講義をいただきました。

二〇二三(令和五)年よりお勤まりになります親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要で依用する、新たな法要作法の「新制 御本典作法」の教本を用いて、実際に唱えながら講義をいただきました。

八月二日(火)は、講師に船橋哲成師(得度習礼教育主幹)を迎え、テーマ「ご親教 浄土真宗のみ教え」と題してご講義をいただきました。

二〇二二(令和三)年四月十五日の立教開宗記念法要(春の法要) ご門主法話(ご親教)「浄土真宗のみ教え」の内容をわかりやすくまとめたお話をいただきました。

法名入り名札

帰敬式受式・得度等をご縁に浄土真宗の門徒・僧侶としての自覚をあらたにし、念仏者として生きる日暮らしを大切に歩む第一歩として、自らが法名を名告ることからはじめましょう。

頒布対象 帰敬式・得度を受式され、法名を授与されたすべての方

体裁 30mm×60mmアクリル製二色

下り藤入り 両用クリップ付き
教区・寺号・俗名・法名彫り込み

冥加金 一個につき一五〇〇円

申込方法 『法名入り名札』交付申請書に必要事項を記入・住職印押印のうえ、冥加金(一個一五〇〇円)を添えて、現金書留にて門信徒教化部宛に郵送ください。

納期 一～二カ月

主体 全国門徒総代会

お問い合わせ先

門信徒教化部
〇七五-三七-一五二八(代)
千六〇〇-八五〇-一
京都府京都市下京区堀川
通花屋町下ル



お知らせ

岐阜別院『報恩講法要』のご案内

YouTubeチャンネル「本願寺岐阜別院」について

岐阜別院の法要の様子を生配信いたしますのでご覧ください。

YouTube 本願寺岐阜別院

またはQRコードを読み取りご視聴ください。



12月4日(日) 午前10時 日中法要
午後1時 逮夜法要

12月5日(月) 午前10時 日中法要
午後1時 大逮夜法要
午後6時 帰敬式
午後7時 初夜法要

12月6日(火) 午前10時 満日中法要
午後10時 満日中法要

ご講師 小野 正信師 (東海教区 海幡組 教蓮寺)

●岐阜別院『報恩講法要 帰敬式』

期日 12月5日(月)

時間 午後6時

場所 本願寺岐阜別院 本堂

●冥加金 成人二、〇〇〇円 未成年七、〇〇〇円

●申請方法 本願寺岐阜別院または所属寺院にお申し出ください

●締切 11月1日(火)別院必着

※内願(希望する漢字2字を法名として願い出ること)については締切が10月1日となります。締切日を過ぎてのお申し込みの場合は、選定法名での受式となりますこと予めご了承ください。

詳細は、本願寺岐阜別院までお問い合わせください。